

—第 100 回住まいとまちづくり講座—

—経験・知識・実践を分かち合う—

10月10日（金） 18時～20時45分

自由学園「明日館」

参加費 1000 円 （定員 70 名）

（豊島区西池袋 2-31-3 TEL03-3971-7535）

JR 池袋駅外味[※]リカ[※]口より徒歩 5 分、JR 目白駅より徒歩 7 分（駐車場はありません）

「長生きマンションのプログラムをいっしょにデザインしましょう」「どんな住まいでも 100 年」「快適・長生きマンション」と言い続けて様々なテーマで講座を開催してきました。一緒に学び、事務所でサポートし、実践してきたマンションのみなさんから管理組合の運営、合意形成、専門家の支援、建物の維持管理、改修工事などについて具体的にお話をさせていただきます。

会場は、「長生きで快適」というコンセプトに相應しい 1921 年に建てられた自由学園明日館です。マンションの 100 年後が見えてくると思います。

13時30分～17時 【教室】 「住まいの個別相談会」 相談時間 45 分（無料）
時間帯 ①13:30～14:20 / ②14:20～15:10 / ③15:10～16:00 / ④16:00～16:50

14時～16時 【教室】 「講座：多摩の木で住まいづくり」（無料）

17時～ 「講座」受付開始（参加費 1000 円）
（17時20分～17時50分 世界遺産のジードルンク / フルート演奏）

18時～20時45分 【ラウンジホール】「経験・知識・実践を分かち合う」
・スライドによるマンションの紹介
・5つのキーワード「選択」「決定」「経験」「出来事」「これから」を報告
・まとめ—マンションの 100 年後が見えてきた

資料の準備の関係がありますので、お申込をお願いします。

メールでお申し込みの方は、件名に「第 100 回講座」とお書き下さい。

住まいとまちづくりコース

千代崎一夫 / 山下千佳

〒174-0072 板橋区南常盤台 1-38-11-1 階
TEL 5986-1630 FAX 5986-1629
e-mail sumaimachi@sumaimachi.net



<申込用紙> お名前 _____

住所（〒 _____）

電話 _____ FAX _____

メール _____

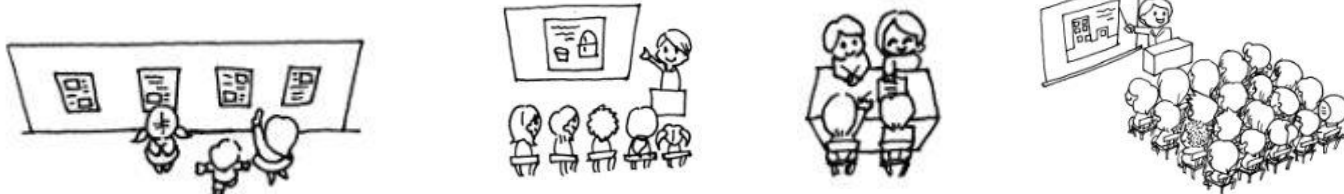


【 住まいとまちづくり講座 】

事務所スタッフが学ぶ場を公開するというスタイルで住まいやマンション、団地に関する知識や交流のために『住まいとまちづくり講座』を開催してきました。主なテーマはマンションの共用部や専有部の修繕、耐震診断・補強、防災、防犯、バリアフリー化、エレベーター改修・設置、室内空気汚染、騒音、シックハウスやアスベスト対策、省エネ、外断熱、太陽光利用、ペット飼育、規約づくり、管理システムの見直し、専門家・コンサルタントの役割と協働、海外視察の報告などです。

大規模改修工事の中間時や完了時に見学会を住民の方のご協力を得て行なっていることもあります。また、マンションの管理組合や自治会の運営が円滑にすすむためのファシリテーター養成講座にも取り組んできました。

参加される方の人数はテーマによって10人ぐらいから100人を超すというかなりの幅がありますが、どの回も新しい技術を意欲的に学ぶこと、顔が見え、声が聴ける講座の持つ役割が大きいことを実感しています。今回は、管理組合役員のみなさんにお話をさせていただき、悩みや課題を共有することで、高齢になっても住み続けられる、孫子の代まで愛される「快適な住まい」を考えたいと思います。



【重要文化財 自由学園明日館 (みょうにちかん)】 (ホームページより抜粋)

1921年(大正10)、羽仁吉一、もと子夫妻が創立した自由学園の校舎として、アメリカが生んだ巨匠フランク・ロイド・ライトの設計により建設されました。

空間を連続させて一体構造とする設計は、枠組壁式構法(2×4構法)の先駆けとの見方もあります。木造で漆喰塗の建物は、中央棟を中心に、左右に伸びた東教室棟、西教室棟を厳密なシンメトリーに配しており、ライトの第一期黄金時代の作風にみられる、高さを抑えた、地を這うような佇まいを特徴としています。プレイリースタイル(草原様式)と呼ばれるそれは、彼の出身地・ウィスコンシンの大草原から着想を得たもので、池袋の界隈に開放的な空間を演出しています。道路を隔てた南西には、272人収容できる遠藤新設計の講堂がならび、重要文化財・自由学園明日館は構成されています。

1934年(昭和9)に自由学園が南沢(東久留米市)に移転してからは、明日館は主として卒業生の事業活動に利用されてきました。その後、明日館の歴史的、芸術的価値が評価され、1997年(平成9)5月、国の重要文化財指定を受けました。関東大震災や第二次世界大戦の空襲からも免れた明日館でしたが、80年の歳月のなかで老朽化が顕著になったため、1999年(平成11)3月から2001年(平成13)9月まで保存修理工事が行われ、同年11月に再開業いたしました。

